



2024年12月期

第1四半期

決算説明資料

2024年5月9日

株式会社セプテーニ・ホールディングス

Copyright ©2024 SEPTENI HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved.

- 01 FY2024以降の経営体制と方針
- 02 四半期連結決算概要
- 03 デジタルマーケティング事業
- 04 メディアプラットフォーム事業
- 05 業績予想に対する進捗状況
- 06 補足資料

2023年12月期より、IPプラットフォーム事業を非継続事業に組替表示しているため、
収益、営業利益、Non-GAAP営業利益は非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しております

2016年9月期より、従来の日本基準に替えてIFRSを適用しております

従来の「売上高」は参考情報として任意開示とする一方、IFRSに基づく指標として「収益」を開示しております
デジタルマーケティング事業の大半を占める広告代理販売における収益は、マージン部分のみの純額計上となります

事業の実態をより適切に表現するため、「Non-GAAP営業利益」を任意で開示しております

Non-GAAP営業利益とは、IFRSに基づく営業利益から、買収に伴う無形資産の償却費、M&Aに伴う費用等の買収行為に関連する損益
及び株式報酬費用、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標です

本資料の数値は、単位未満を四捨五入して表示しております

01

FY2024以降の経営体制と方針

04 新経営体制について 監督と執行：監督



こうの ゆういち
神埜 雄一

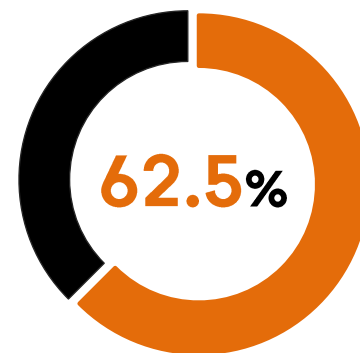
代表取締役 グループ社長執行役員



しみず ゆうすけ
清水 雄介

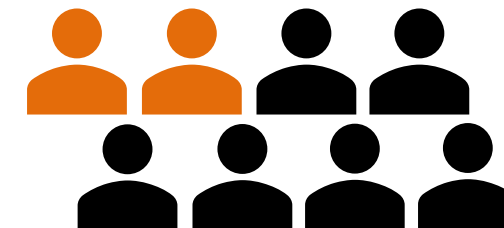
取締役 グループ副社長執行役員

社外取締役比率



女性取締役

2名



岡島 悦子
独立社外取締役



石川 善樹
独立社外取締役



入山 章栄
独立社外取締役



高岡 美緒
独立社外取締役



塩野 誠
独立社外取締役



北原 整
取締役
(非常勤)

新たに集団指導体制を構築・推進するとともに、 各領域、セグメント内でシナジーを起こす「領域経営」にシフト

グループ社長執行役員



神埜 雄一
グループCEO、内部監査

グループ副社長執行役員



清水 雄介
デジタルマーケティング事業全体



上野 勇
コーポレート
(CEOオフィス除く)、
HRテクノロジー領域

グループ上席執行役員



波多野 圭
グループ財務経理、
情報システム、内部統制



呉 鼎
CEOオフィス、
グループ広報、サステナビリティ、
メディアプラットフォーム事業



近藤 一成
デジタルマーケティング事業
(ダイレクトビジネス領域、
電通協業)



末藤 大祐
デジタルマーケティング事業
(海外広告領域)、スポーツ領域、
エンターテインメント領域



高野 真行
デジタルマーケティング事業
(データ・ソリューション領域、
ダイレクトビジネス領域)

グループ執行役員



野口 照之
グループ法務、取締役会運営



江崎 修平
グループ人事



宮崎 陽子
グループ広報、サステナビリティ、
情報システム



武藤 政之
デジタルマーケティング事業
(データ・ソリューション領域)



福原 雄亮
デジタルマーケティング事業
(データ・ソリューション領域)



鈴木 雄太
デジタルマーケティング事業
(国内広告領域)



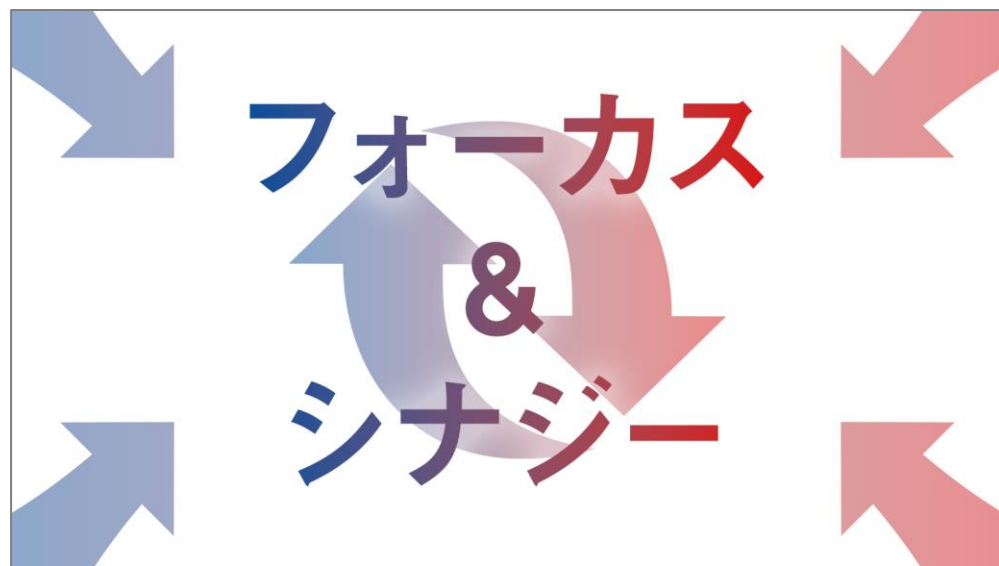
山崎 貴大
デジタルマーケティング事業
(国内広告領域)



大久保 亮
デジタルマーケティング事業
(国内広告領域)

中核事業であるデジタルマーケティング事業のさらなる強化を図り
複数の強い事業をもつ企業体への進化に向けた準備を開始

中期テーマ



中期フォーカスポイント

デジタルマーケティング事業の
再編／強化

デジタルマーケティング事業の
アセットを活用したグループシナジー

各領域内からの事業創出

デジタルマーケティング事業へフォーカスを強めるため、各領域への再編を行い、グループシナジーの創出を目指す

デジタルマーケティング事業

マーケティング・コミュニケーション領域

- ・電通協業、統合マーケティングの強化
- ・グループ内の機能を集約し、人材×ノウハウ×アセットの組み合わせを強化

ダイレクトビジネス領域

- ・デジタル×オフラインメディアの強みをさらに強化
- ・ノウハウを活用し、自社商品の販売事業（D2C事業）へ新たに展開

データ・ソリューション領域

- ・これまでに培った技術力を生かし、顧客のサービス開発支援を強化
- ・開発組織のさらなる強化に向けた周辺領域への新たな展開

メディアプラットフォーム事業

- ・既存アセットをフル活用し黒字化を定着



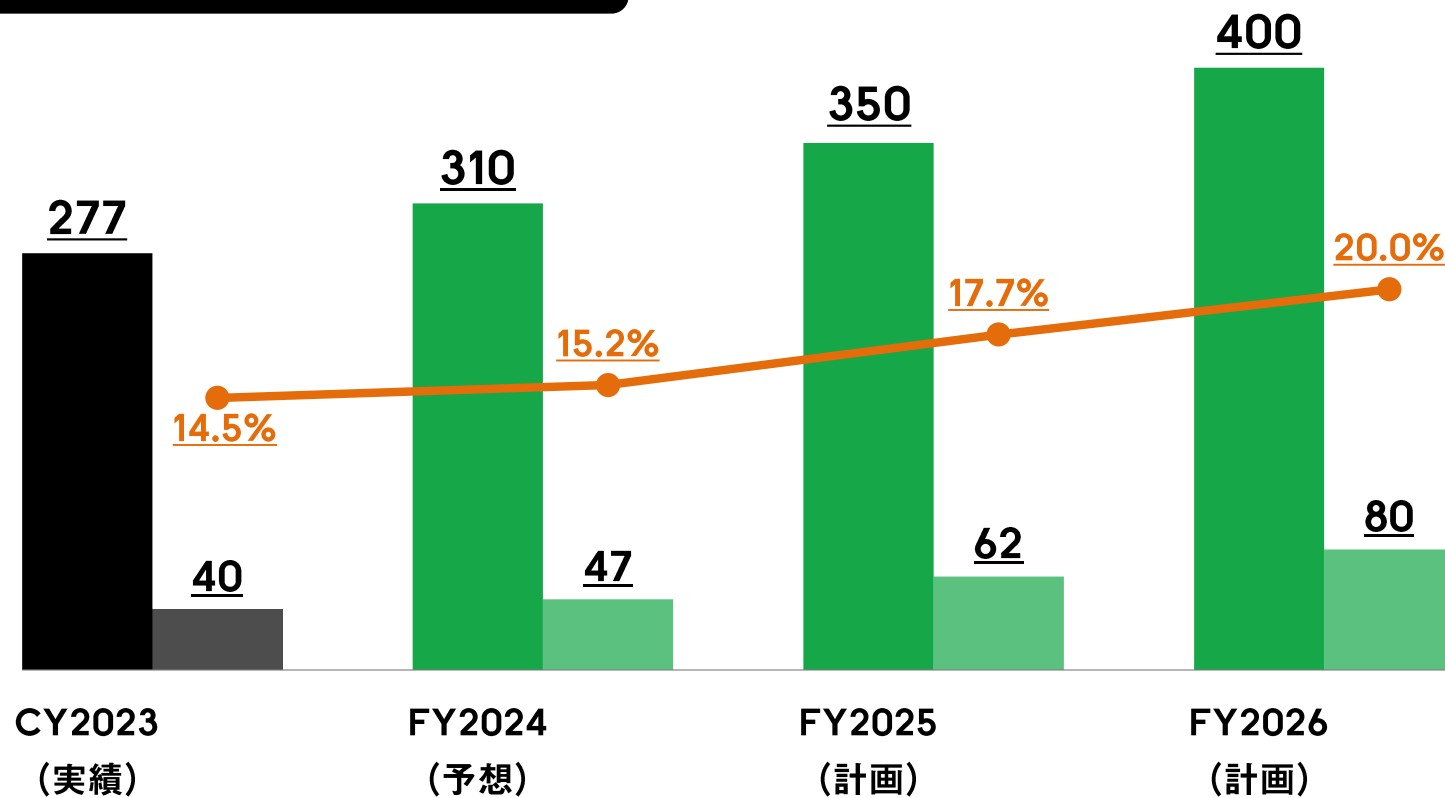
成長投資

- ・各領域の事業成長のためのM&Aを適宜検討

デジタルマーケティング事業を中心とした成長により、
増収増益と営業利益率の上昇を見込む

連結3ヵ年計画（非継続事業組替え後）

■ 収益 ■ Non-GAAP営業利益 ● 営業利益率（対収益）（単位：億円）

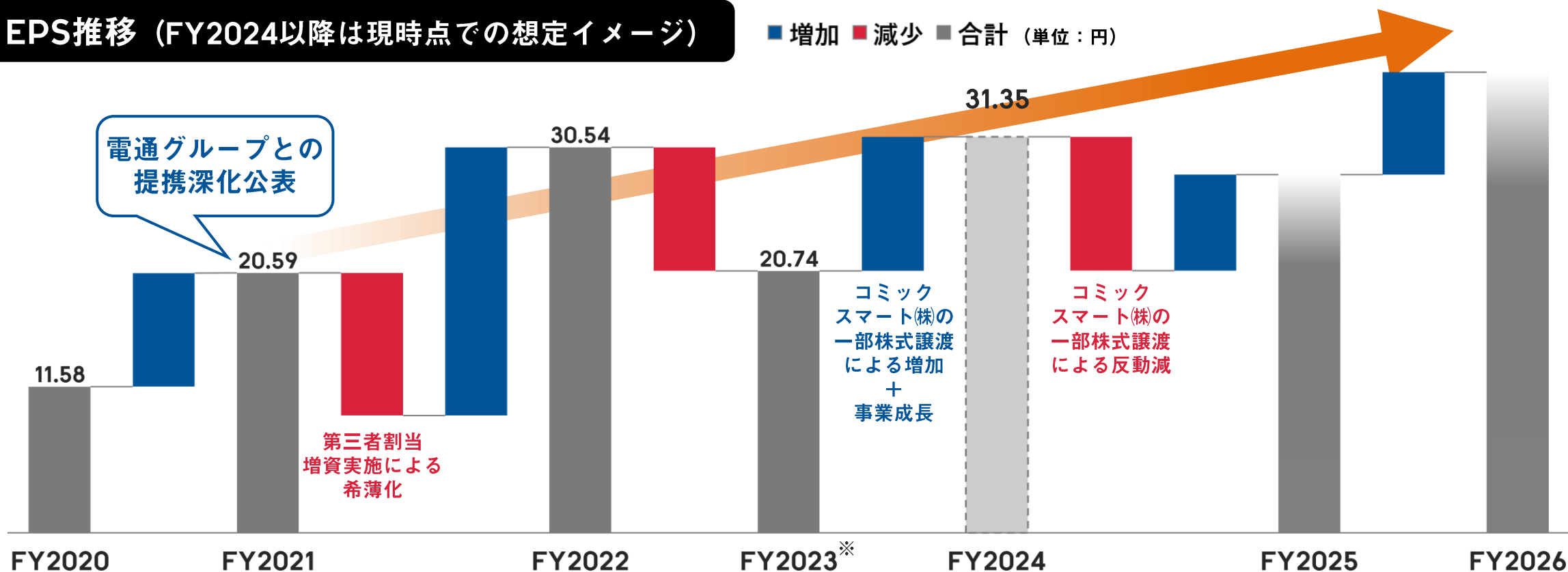


09 EPSの推移と見通し（再掲）

本中期経営方針期間において、電通提携深化公表時に掲げた、FY2021当時のEPS実績から約2倍成長の実現を目指す

EPS推移（FY2024以降は現時点での想定イメージ）

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計（単位：円）



※FY2023は15か月分の数値を表示

各領域の事業成長のための投資を検討しながら、
株主還元のさらなる充実に向けた議論を進行

今後のアロケーションの考え方

中計期間
営業CF

FY2023
期末現預金

成長投資

株主還元

必要手元資金

- ・オーガニック成長、新規事業創出に向けた投資
- ・デジタルマーケティング事業の各領域の成長に向けたM&Aを適宜検討
- ・安定的な配当の実施
- ・継続的に配当性向の引き上げを検討
- ・機動的な自己株式取得の実行
- ・適正な必要運転資金の確保

02

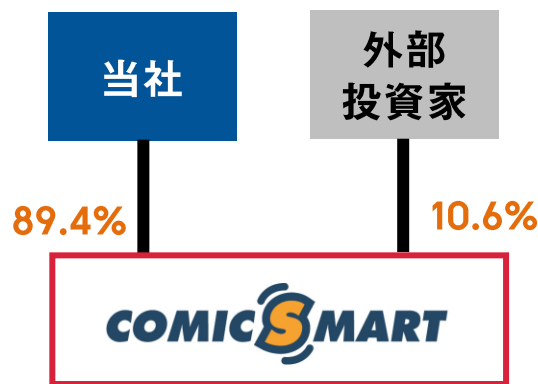
四半期連結決算概要

12 コミックスマート(株)の一部株式譲渡について

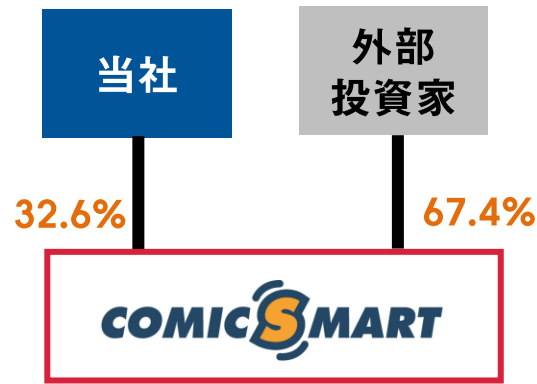
- 株式譲渡実行日（2024年3月29日）をもってコミックスマート(株)は持分法適用関連会社となり、FY2024/1Qに株式売却関連益として約23.3億円を計上
- コミックスマート(株)のFY2023/1Q～FY2024/1Qまでの業績を非継続事業に組替えているため、FY2024/1Qは「非継続事業からの当期利益」に、FY2024/2Q以降は「持分法投資利益」に計上

スキーム概要

本件実行前



本件実行後



P/Lにおける計上方法

営業利益

持分法投資利益

FY2024/2Q～

継続事業からの当期利益

非継続事業からの当期利益

～FY2024/1Q

親会社の所有者に帰属する
当期利益

13 連結P/Lの遡及修正（非継続事業への組替え）

コミックスマート(株)の一部株式譲渡により収益性が改善

(単位：百万円)	2023年 1-12月 (非継続事業組替え前)		2023年 1-12月 (非継続事業組替え後)		2024年 12月期 業績予想	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
収 益	30,307	100.0%	27,674	100.0%	31,000	100.0%
売上総利益	22,709	74.9%	22,106	79.9%	—	—
販売管理費	19,249	63.5%	18,171	65.7%	—	—
Non-GAAP営業利益	3,530	11.6%	4,016	14.5%	4,700	15.2%
営業利益	3,441	11.4%	3,922	14.2%	—	—
持分法投資利益	1,207	4.0%	1,207	4.4%	—	—
継続事業からの当期利益	—	—	4,182	15.1%	—	—
非継続事業からの当期利益	—	—	-483	—	—	—
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,736	12.3%	3,736	13.5%	6,500	21.0%
【参考】売上高	140,670	—	138,036	—	150,000	—

14 FY2024/1Q (1-3月) ハイライト (非継続事業組替え後)

- マーケティング・コミュニケーション領域を中心に前年同期比で増収
- 2023年4月より実施した人的資本への投資を強化
- コミックスマート(株)の一部株式譲渡に伴う株式売却関連益の計上により親会社の所有者に帰属する四半期利益、EPSが大きく増加

	金額	前年同期比	対業績予想進捗
収 益	7,292百万円	+3.2%	23.5%
Non-GAAP営業利益	1,274百万円	-11.5%	27.1%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	3,489百万円	+121.8%	53.7%
1株当たり四半期利益 (EPS)	16.85円	+9.35円	—

デジタルマーケティング事業

(単位：百万円)

- マーケティング・コミュニケーション領域の既存案件の拡大を中心に増収
- 人的資本への投資強化により減益

	金額	前年同期比	対業績予想進捗
収 益	6,912	+3.3%	23.9%
Non-GAAP 営業利益	1,999	-7.1%	26.6%

メディアプラットフォーム事業

(単位：百万円)

- Web3領域におけるスポット案件の反動減に減収
- 就職・採用プラットフォーム事業の増益により赤字幅縮小

	金額	前年同期比	対業績予想進捗
収 益	418	-3.5%	18.2%
Non-GAAP 営業利益	-9	(+11)	-19

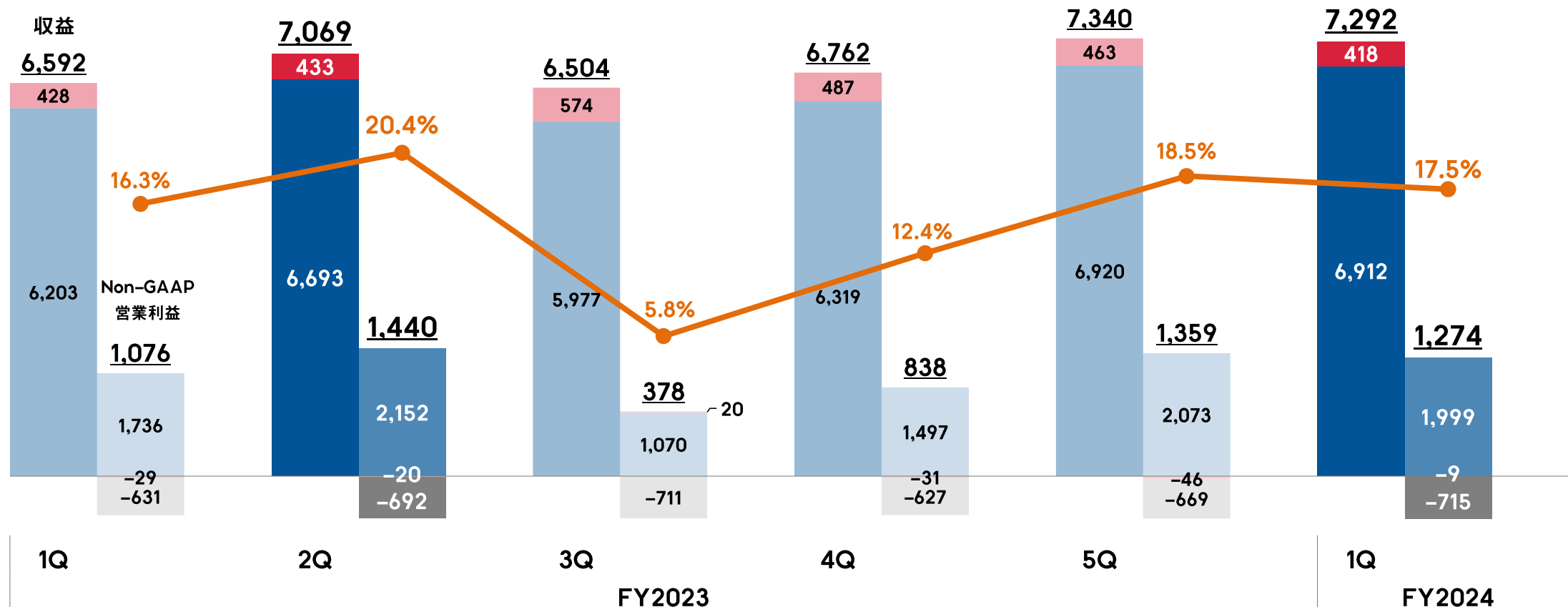
コミックスマート(株)の一部株式譲渡に伴う売却関連益を非継続事業からの当期利益に計上し、親会社の所有者に帰属する四半期利益が大幅増益

(単位：百万円)	2024年 12月期 1Q			2023年 12月期 2Q	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	7,292	100.0%	+3.2%	7,069	100.0%
売上総利益	5,982	82.0%	+5.0%	5,699	80.6%
販売管理費	4,725	64.8%	+9.9%	4,300	60.8%
Non-GAAP営業利益	1,274	17.5%	-11.5%	1,440	20.4%
営業利益	1,259	17.3%	-6.5%	1,347	19.0%
持分法投資利益	615	8.4%	+29.7%	474	6.7%
継続事業からの当期利益	1,260	17.3%	-25.5%	1,691	23.9%
非継続事業からの当期利益	2,210	30.3%	—	-125	—
親会社の所有者に帰属する四半期利益	3,489	47.9%	+121.8%	1,573	22.3%
【参考】売上高	38,822	—	+13.0%	34,346	—

17 連結業績四半期推移（セグメント別・非継続事業組替え後）

デジタルマーケティング事業のけん引により増収

■ デジタルマーケティング ■ メディアプラットフォーム ■ 調整額（全社費用等）（単位：百万円） ● 営業利益率（対収益）



*セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益（下線付数値）は一致しない

18 連結費用構成 (IFRS・非継続事業組替え後)

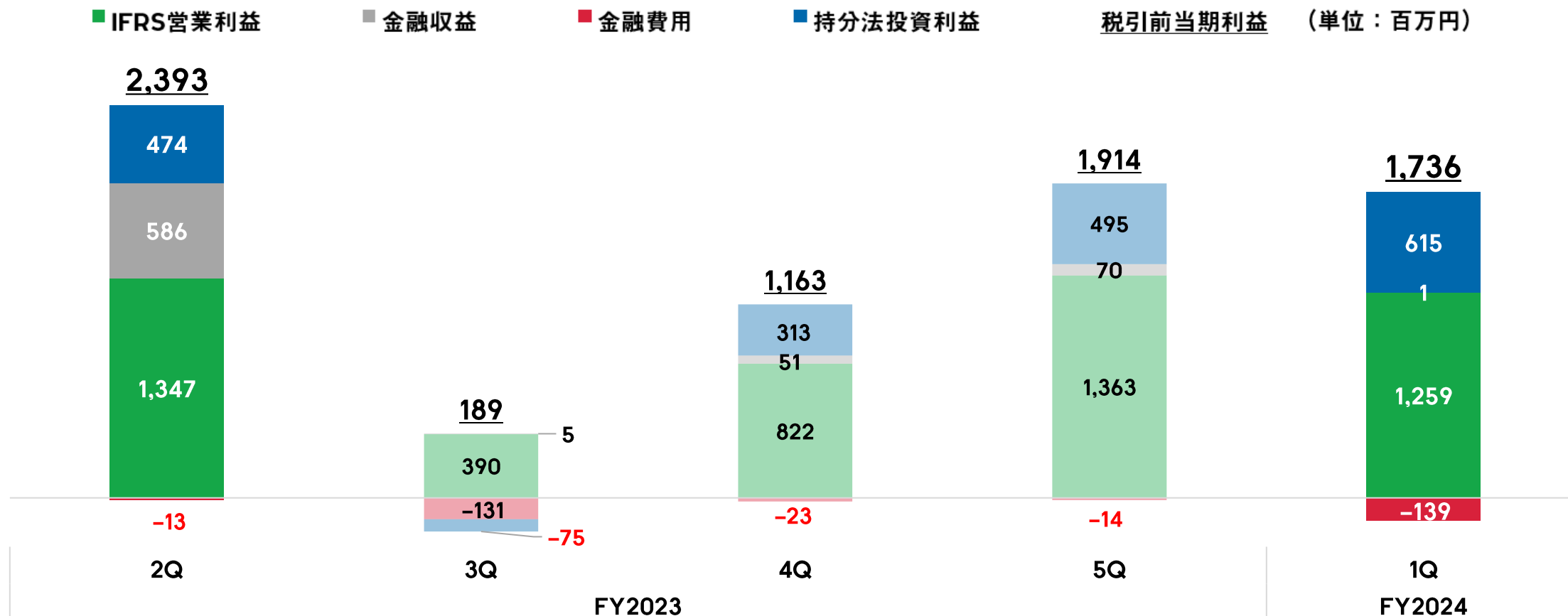
人的資本への投資強化のためのベースアップにより人件費が前期比で増加

(単位：百万円)	FY2023					FY2024	QonQ	YonY
	1Q	2Q	3Q	4Q	5Q	1Q		
売上原価合計	1,232	1,370	1,424	1,400	1,374	1,310	-4.7%	-4.4%
人件費	393	408	453	442	439	422	-4.0%	+3.4%
外注費	545	659	623	650	596	592	-0.6%	-10.2%
その他	294	303	349	308	339	296	-12.8%	-2.5%
販管費合計	4,329	4,300	4,695	4,553	4,623	4,725	+2.2%	+9.9%
人件費 ※1	2,878	2,892	3,248	3,154	3,149	3,227	+2.5%	+11.6%
従業員賞与 ※2	147	155	148	195	204	177	-13.3%	+13.6%
賃借料等	293	284	297	294	295	266	-9.9%	-6.2%
販促費・広告費	160	124	154	164	157	180	+14.3%	+45.1%
租税公課	105	105	97	61	97	104	+8.0%	-0.6%
その他	747	740	751	685	721	772	+7.1%	+4.3%

※1 Non-GAAP営業利益への調整項目である株式報酬 (BIP信託) を人件費として見積計上 ※2 業績連動賞与の見積も含む

19 連結 税引前当期利益 四半期推移 (非継続事業組替え後)

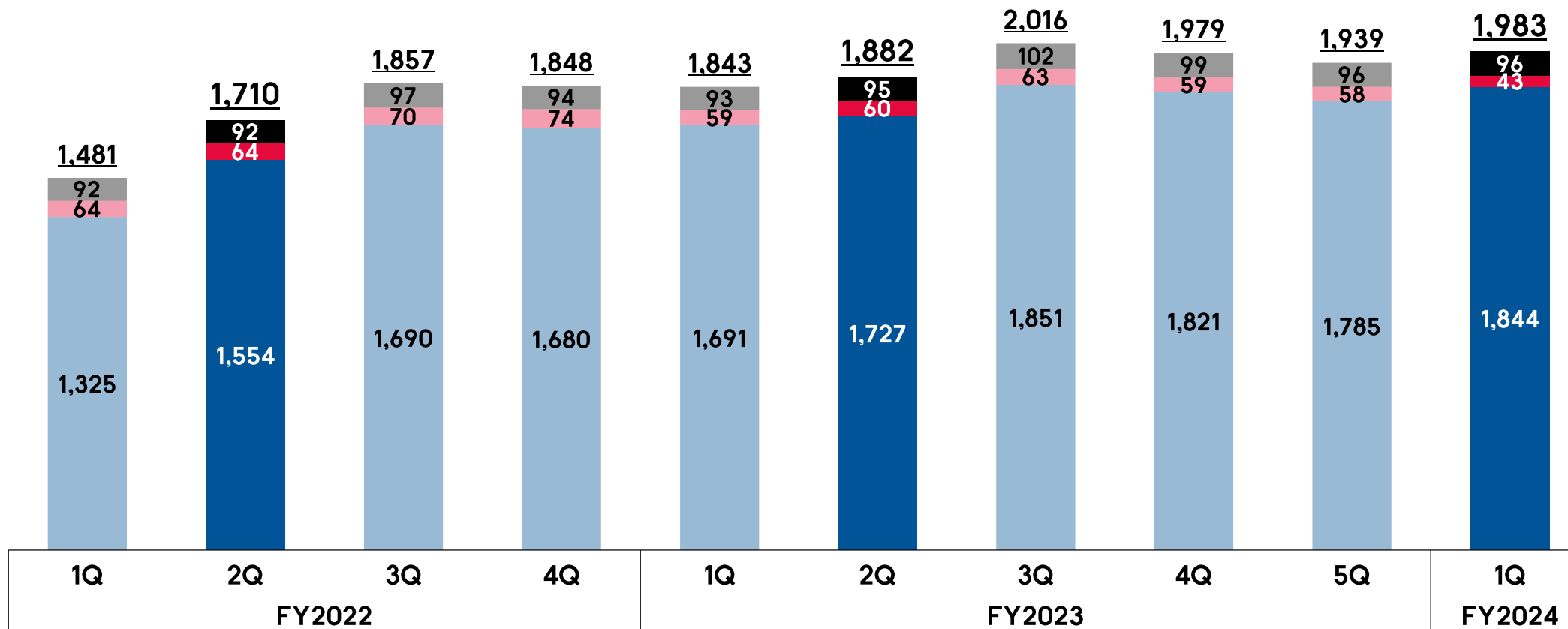
持分法投資利益が前期比、前四半期比ともに増加



20 連結従業員数推移

雇用形態の変更によりデジタルマーケティング事業の従業員数が増加

■ デジタルマーケティング事業 ■ メディアプラットフォーム事業 ■ 持株会社 (単位:名)



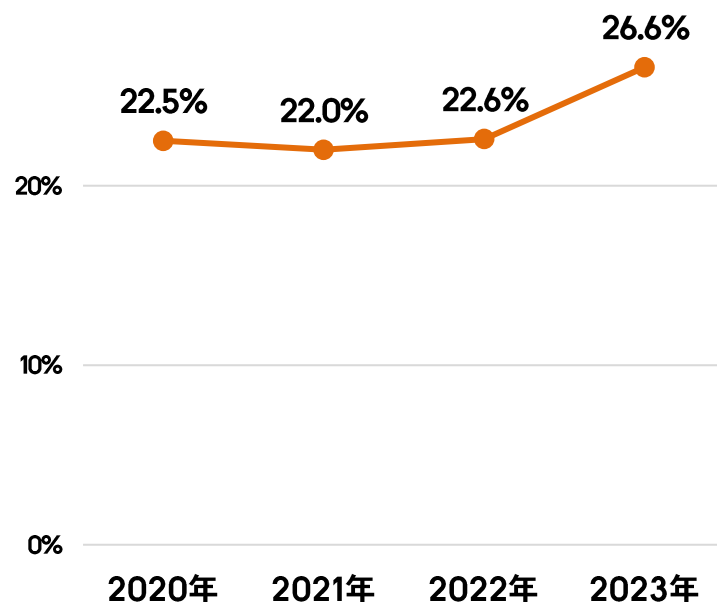
*IPプラットフォーム事業の非継続事業組替えに伴い、連結従業員数から除外

21 人的資本経営における取組みと進捗

当社グループにおいて特に優先度の高いマテリアリティである
Socialのなかでも人的資本関連のKPIを設定し、各種施策を推進

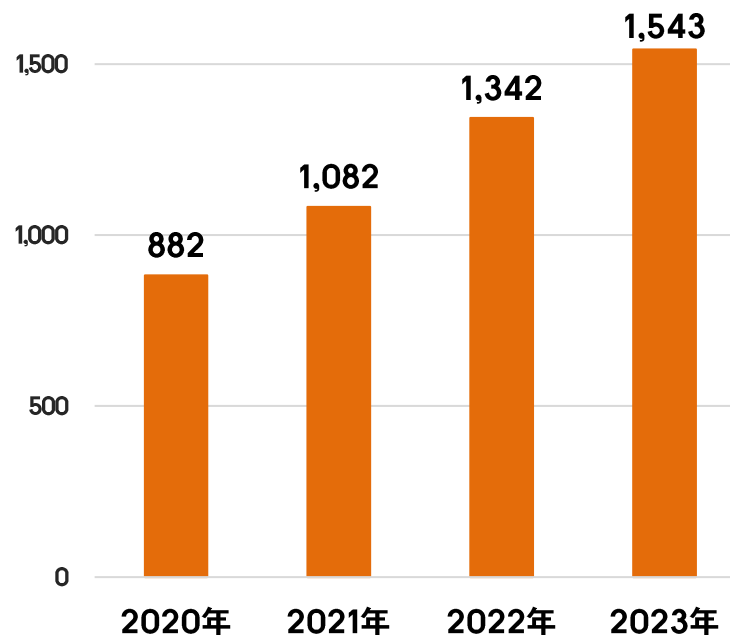
女性管理職比率※1

目標：2030年までに女性管理職比率30%（国内全体）



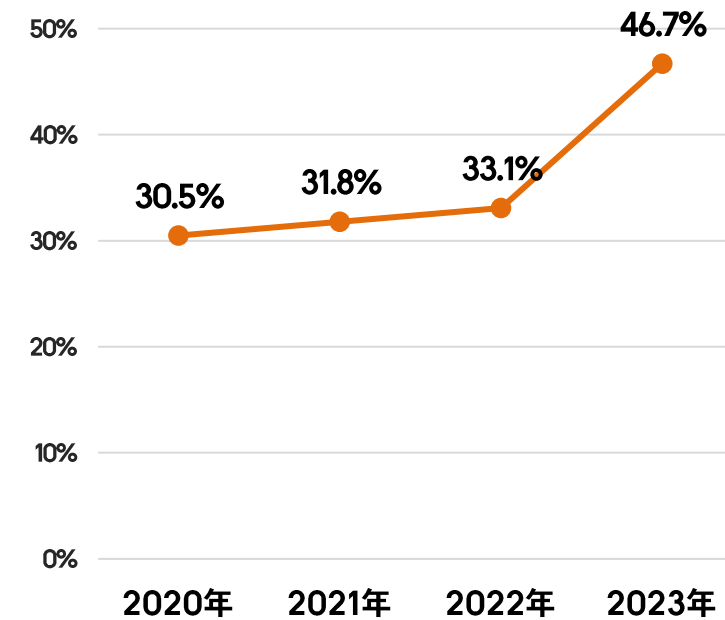
アントレプレナーシップを 育むイベントに参加した人数※2

目標：前年比増



従業員持株会入会比率 (対・対象会社正社員)

目標：前年比増



03

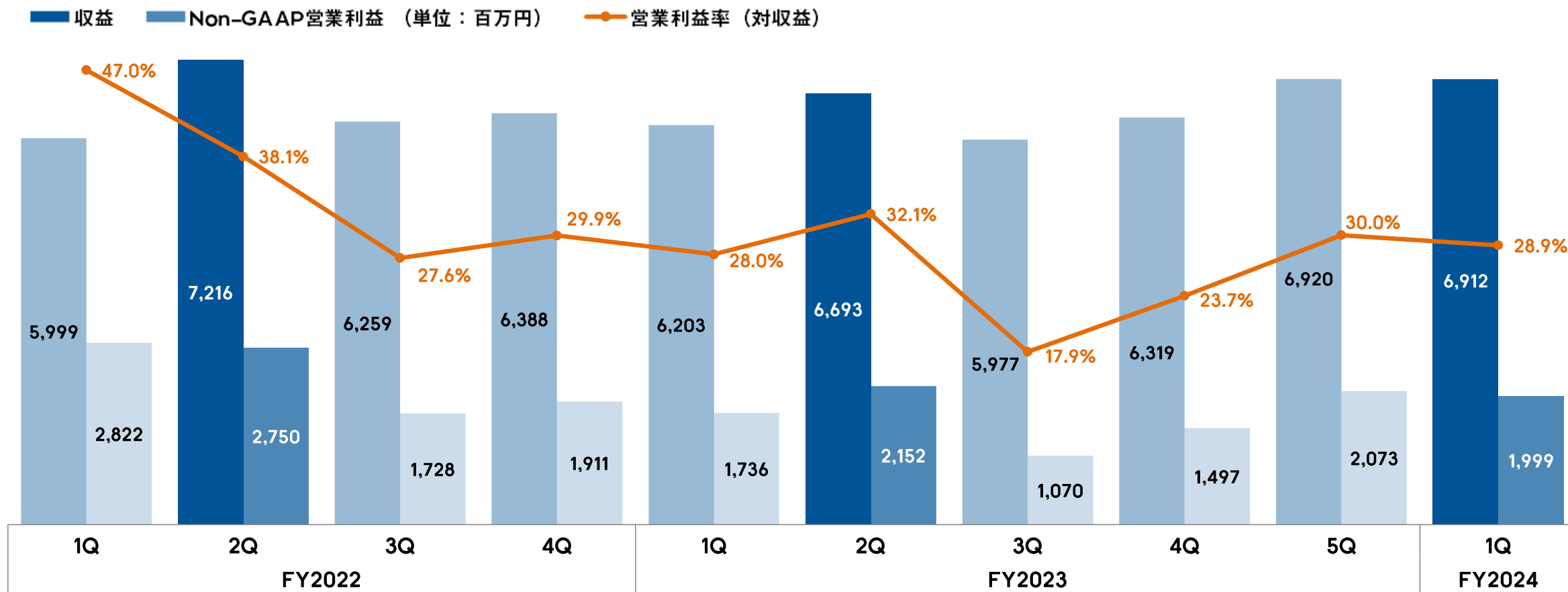
デジタルマーケティング事業

23 デジタルマーケティング事業 業績概況

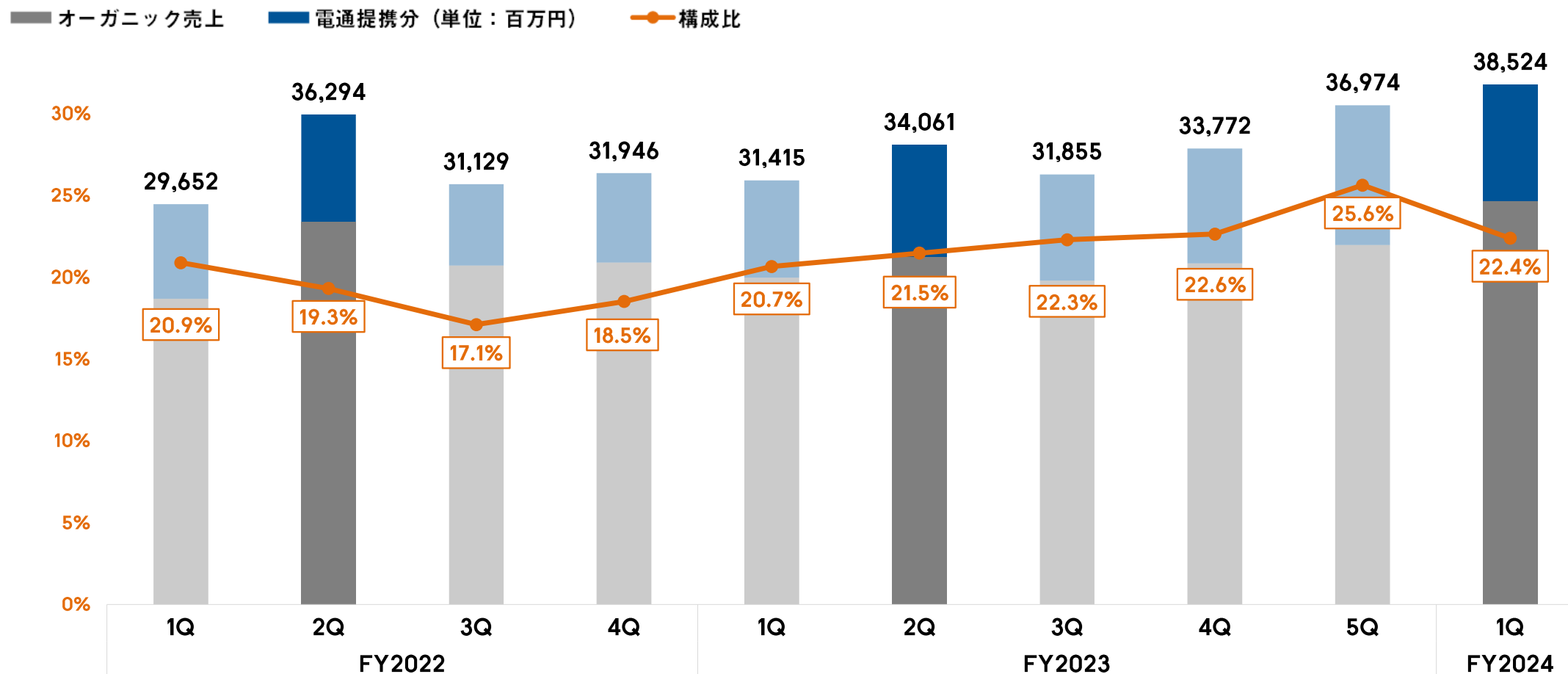
マーケティング・コミュニケーション領域の既存案件を
中心に拡大し、売上高が二桁成長

(単位：百万円)	2024年12月期 1Q			2023/12期 2Q	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	6,912	100.0%	+ 3.3%	6,693	100.0%
売上総利益	5,665	82.0%	+ 4.9%	5,400	80.7%
販売管理費	3,684	53.3%	+ 12.6%	3,271	48.9%
Non-GAAP 営業利益	1,999	28.9%	- 7.1%	2,152	32.1%
【参考】売上高	38,524	—	+ 13.1%	34,061	—

大型顧客を中心とする既存案件の拡大により増収



協業売上高は86億円（前期実績73億円、前期比+17.9%）となり、
デジタルマーケティング事業全体の成長に寄与



*FY2022/2Q以降、オーガニック売上に新規連結効果を含む *一部案件についてオーガニックに振り替える遡及修正を実施

04

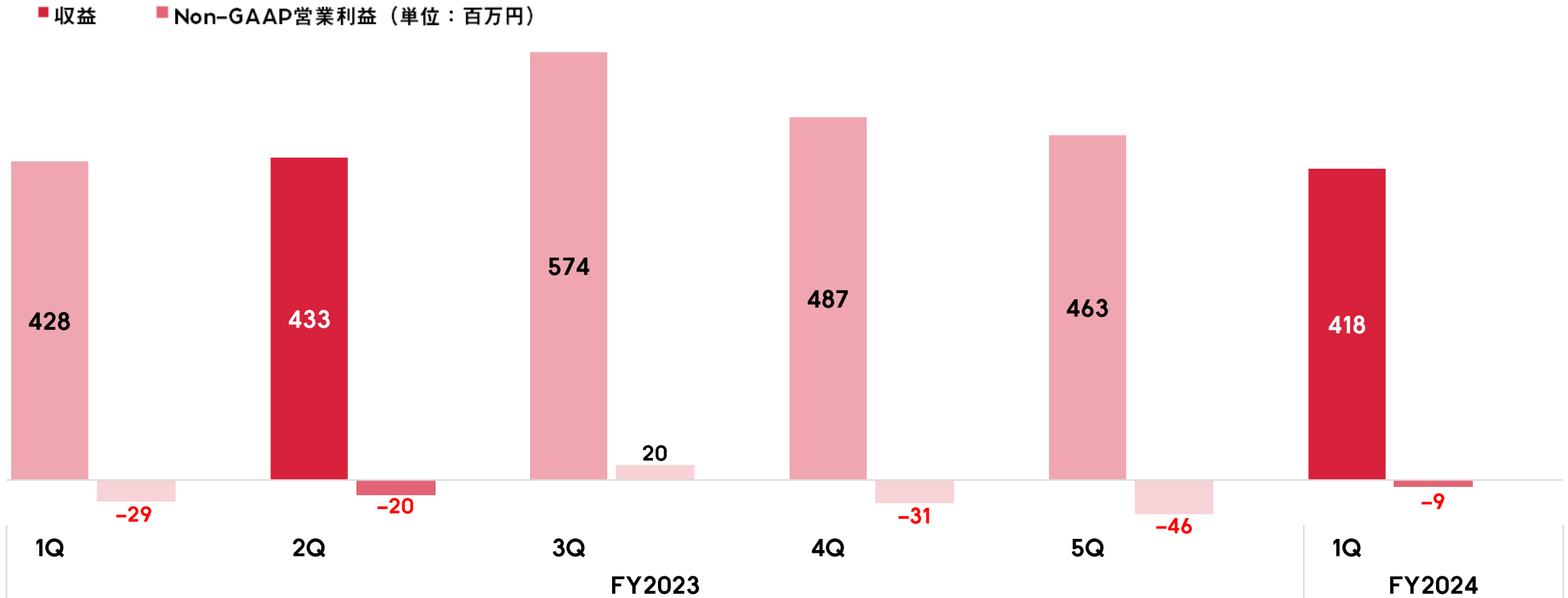
メディアプラットフォーム事業

Web3領域におけるスポット案件の反動減により減収するも、就職・採用プラットフォーム事業を中心に増益し、赤字幅縮小

(単位：百万円)	2024年12月期 1Q			2023/12期 2Q	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収益	418	100.0%	-3.5%	433	100.0%
売上総利益	352	84.3%	-0.2%	353	81.5%
販売管理費	362	86.5%	-3.3%	374	86.3%
Non-GAAP 営業利益	-9	—	+11	-20	—

28 メディアプラットフォーム事業 四半期業績推移 (非継続事業組替え後) SEPTENI

費用をコントロールしながら赤字幅が縮小



05

業績予想に対する進捗状況

デジタルマーケティング事業を中心とした着実な成長と、コミックスマート(株)の一部株式売却による親会社の所有者に帰属する当期利益の押し上げ効果もあり、EPSの大幅増加を見込む

(単位：百万円)	2023年1~12月実績 (暦年ベース)	2024年12月期予想	予想成長率（前期比）
収 益	27,674	31,000	+12.0%
Non-GAAP営業利益	4,016	4,700	+17.0%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,736	6,500	+74.0%
1株当たり当期利益（EPS）（円）	17.97※	31.35	+13.38
【参考】売上高	138,036	150,000	+8.7%
1株当たり配当金（円）	—	7.9	—
配当性向（%）	—	25.2	—

31 2024年12月期 業績予想 (連結)

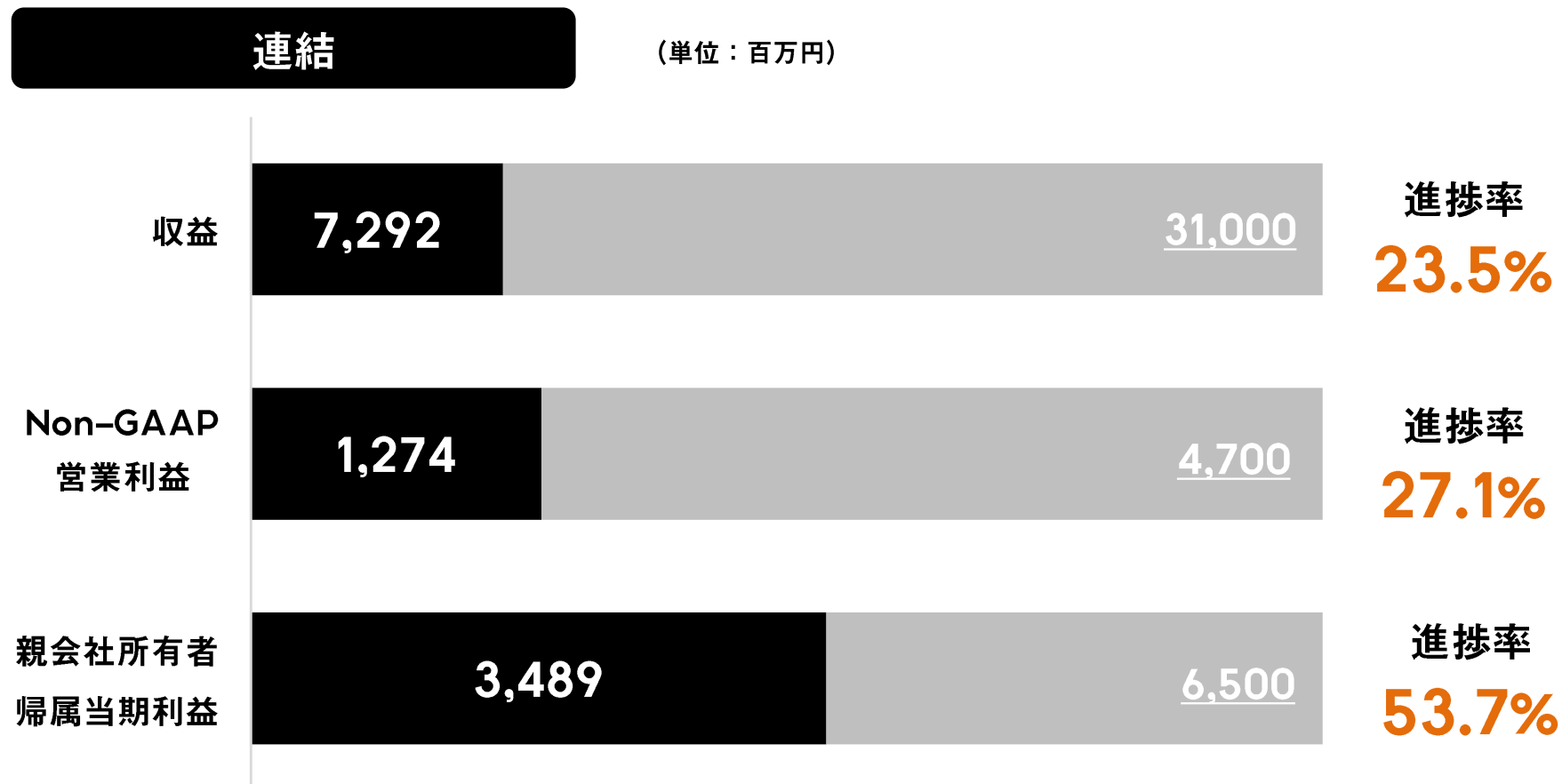
デジタルマーケティング事業を中心に、市場成長率以上の成長を目指す

(単位：百万円)	収 益			Non-GAAP営業利益		
	2023年1~12月 実績 (暦年ベース)	2024年12月期 予想	予想成長率 (前期比)	2023年1~12月 実績 (暦年ベース)	2024年12月期 予想	予想成長率 (前期比)
デジタル マーケティング	25,908	28,900	+11.5%	6,791	7,500	+10.4%
メディア プラットフォーム	1,958	2,300	+17.5%	-77*	10	(+87)
消去・全社	-192	-200	-	-2,698*	-2,810	-
連 結	27,674	31,000	+12.0%	4,016	4,700	+17.0%

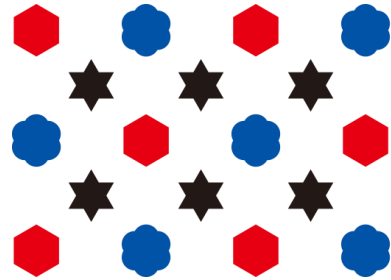
※非継続事業への組替作業において経営指導料の計算を見直したことにより修正

32 業績予想に対する進捗状況（連結）

おおむね計画通り、コミックスマート(株)の一部株式譲渡に伴う売却関連益の計上により親会社の所有者に帰属する当期利益が大きく進捗



本日はありがとうございました



SEPTENI

お問い合わせ先

セプテーニ・ホールディングス CEOオフィスIR部

www.septeni-holdings.co.jp

E-mail : ir@septeni-holdings.co.jp

このプレゼンテーション資料に記載された弊社の将来に関する意見や予測及び計画は、2024年5月9日現在の弊社の判断であり、その正確性を保証するものではありません
世界情勢の変動に関わるリスクやその他様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります

06

補足資料

35 四半期連結P/L (連結・非継続事業組替え後)

(単位：百万円)	FY2023										FY2024	
	1Q		2Q		3Q		4Q		5Q		1Q	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
収 益	6,592	100.0%	7,069	100.0%	6,504	100.0%	6,762	100.0%	7,340	100.0%	7,292	100.0%
売上総利益	5,361	81.3%	5,699	80.6%	5,080	78.1%	5,363	79.3%	5,966	81.3%	5,982	82.0%
販売管理費	4,329	65.7%	4,300	60.8%	4,695	65.7%	4,553	67.3%	4,623	63.0%	4,725	64.8%
Non-GAAP 営業利益	1,076	16.3%	1,440	20.4%	378	5.8%	838	12.4%	1,359	18.5%	1,274	17.5%
営業利益	1,027*	15.6%	1,347	19.0%	390	6.0%	822	12.2%	1,363	18.6%	1,259	17.3%
持分法投資利益	644	9.8%	474	6.7%	-75	—	313	4.6%	495	6.7%	615	8.4%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	583	8.8%	1,573	22.3%	-125	—	738	10.9%	1,550	21.1%	3,489	47.9%
【参考】売上高	31,683	—	34,346	—	32,277	—	34,118	—	37,295	—	38,822	—

※数値に誤りがあったため修正 (843→1,027)

36 四半期連結P/L (メディアプラットフォーム事業・非継続事業組替え後)



(単位：百万円)	FY2023										FY2024	
	1Q		2Q		3Q		4Q		5Q		1Q	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
収 益	428	100.0%	433	100.0%	574	100.0%	487	100.0%	463	100.0%	418	100.0%
売上総利益	348	81.2%	353	81.5%	443	77.1%	392	80.5%	345	74.6%	352	84.3%
販売管理費	377	88.1%	374	86.3%	422	73.6%	424	86.9%	391	84.3%	362	86.5%
Non-GAAP 営業利益	-29	—	-20	—	20	3.4%	-31	—	-46	—	-9	—



統合報告書2023

2023年度版統合報告書を2024年5月下旬に発刊予定です
当社グループの価値創造プロセスのアップデートや
新たな経営体制における経営、事業方針について紹介します

2022年度版は当社ウェブサイト (https://www.septeni-holdings.co.jp/ir/library/integrated-report/integratedreport2022_ja.pdf)
もしくは右のQRコードからご覧ください



セプターニグループ公式note

統合報告書や開示資料には載せきれていない、
人やカルチャーにまつわる様々な取組みを
グループの公式noteで紹介しています

詳細は以下URL (https://note.com/septeni_group)、
もしくは右のQRコードからご覧ください





SEPTENI

グループ理念体系

ビジョン

新しい時代をつくる人が育つ場となる
クリエイティビティとテクノロジーによって、
なめらかな未来へつながるドアを広げる

複雑化した世の中を、
デジタルの力で明るくシンプルに

ミッション

ひとりひとりの
アントレプレナーシップで
世界を元気に

バリュー

つよく、やさしく、おもしろく。

社是

ひねらんかい

グループ理念からミッションとビジョンをサステナビリティ方針として採用し、マテリアリティの見直しを実施

サステナビリティ方針

- ひとりひとりのアントレプレナーシップで世界を元気に
新しい時代をつくる人が育つ場となる
- クリエイティビティとテクノロジーによって、なめらかな未来へつながるドアを広げる
複雑化した世の中を、デジタルの力で明るくシンプルに

サステナビリティ活動の推進

E

気候変動への対応

S

新しい時代をつくる人の育成による企業価値の向上

S

クリエイティビティとテクノロジーによるなめらかな社会の実現

G

非連続の成長を支える先進的なガバナンス体制の構築

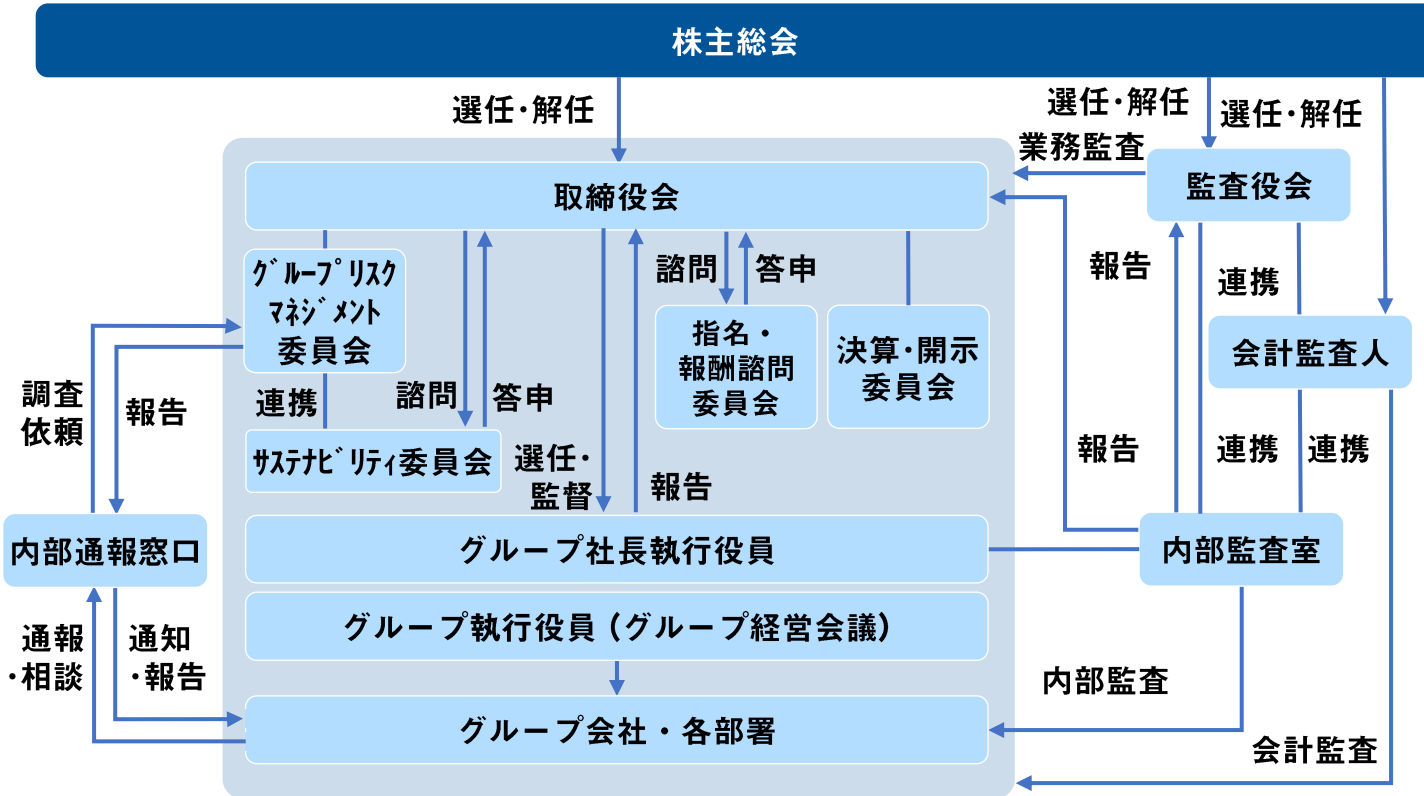
持続可能な社会及び当社のミッション・ビジョンの実現に向け、新たに4つのマテリアリティを特定

	マテリアリティ	マテリアリティの小区分	主なKPI
E	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動への対応 	<ul style="list-style-type: none"> GHG排出量の削減とTCFD提言に沿った情報開示 	<ul style="list-style-type: none"> 2030年までにスコープ1・2の排出量を70%削減
S	<ul style="list-style-type: none"> 新しい時代をつくる人の育成による企業価値の向上 クリエイティビティとテクノロジーによるなめらかな社会の実現 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルHRによる再現性のある人材育成 DEI (ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン) アントレプレナーシップの民主化 なめらかな社会につながる価値創造 	<ul style="list-style-type: none"> 2030年までに女性管理職比率を30%に向上 持株会入会率の継続上昇
G	<ul style="list-style-type: none"> 非連続成長を支える先進的なガバナンス体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 非連続の成長のための取り組み リスク低減のための取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 2024年までにイノベーション・ボードを実現 エグゼクティブセッション継続実施 実効性評価継続実施

41 コーポレートガバナンスの強化

企業理念に基づく行動及び透明公正で効率的な意思決定に加え、法令遵守と企業業績の適切な監督を目的とした体制の整備・運用に注力

コーポレートガバナンス体制図



ガバナンス改革の変遷

- | | |
|--------|--|
| FY2015 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 社外取締役を指名 |
| FY2016 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 取締役会実効性評価を導入 ・ 各種委員会設置によるチェック機能の強化 ・ 買収防衛策の廃止 |
| FY2017 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 役員向け業績連動型株式報酬制度導入 ・ 委任型執行役員制度の導入
⇒ 監督と執行の分離 |
| FY2022 | <ul style="list-style-type: none"> ・ サステナビリティ委員会の設置、ESGへの取り組み強化 ・ 取締役の独立性・多様性をさらに強化
社外比率：5名 / 8名、女性取締役：2名 / 8名
(2024年5月9日時点) |
| FY2023 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 指名・報酬諮問委員会を設置 |

42 事業区分別 主要グループ会社

2024年5月9日現在



デジタルマーケティング事業

マーケティング・コミュニケーション



HIGHSCORE,inc



ダイレクトビジネス

dentsu
direct

dentsu
elfto architect

データ・ソリューション

FLINTERS



メディアプラットフォーム事業



ALPHABLE

Human Capital Lab



持分法適用関連会社



DENTSU
DIGITAL

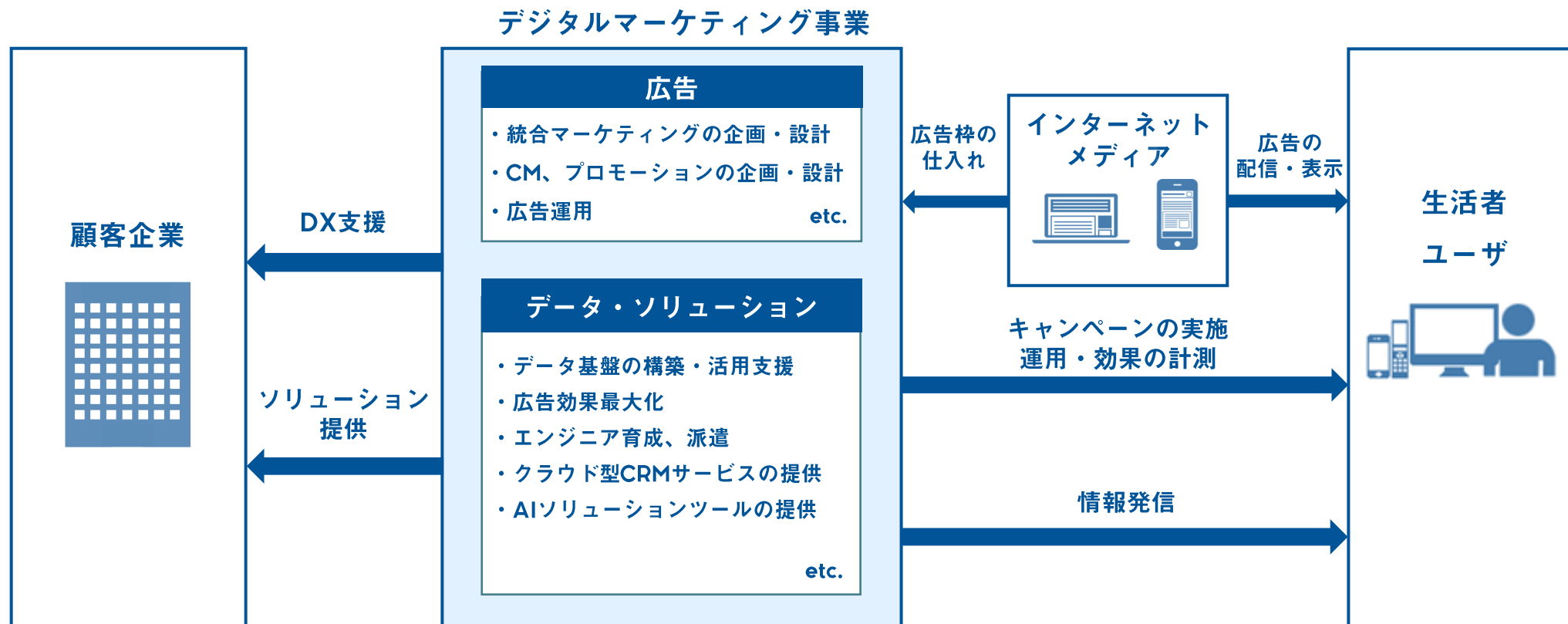
PRIMECROSS

& and factory

セプテーニ・ホールディングス (持株会社)

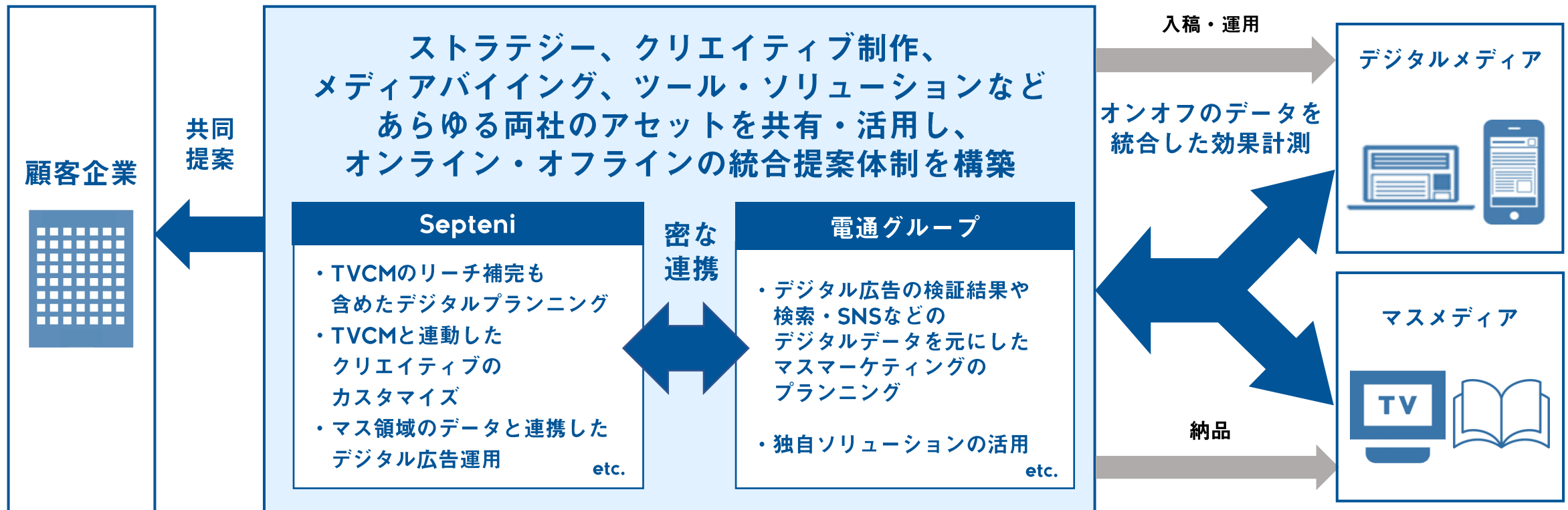
43 デジタルマーケティング事業 ビジネスモデル

デジタル広告の販売と運用を軸としたオンライン・オフライン統合によるマーケティング支援やデータ、AIを活用したソリューションの開発・提供等、マーケティング領域を中心に、企業のDXの総合的な支援を行う



両社の顧客基盤を活用したオンライン・オフライン広告の 統合マーケティング提案（イメージ）

SEPTENI × dentsu



45 メディアプラットフォーム事業 ビジネスモデル

社内ベンチャーから生まれた「就職・採用」「社会貢献」「育児」に関するプラットフォーム型の事業や、近未来の成長分野や社会課題に着目し、グループで保有する資産を飛び地の産業界で活用する事業等を展開



(単位：百万円)	2024年12月期 1Q末	2023年12月期 期末	増減
流動資産合計	48,736	43,683	+5,053
非流動資産合計	50,441	49,923	+518
資産合計	99,176	93,606	+5,570
流動負債合計	29,510	26,333	+3,177
非流動負債合計	1,545	1,569	-23
負債合計	31,055	27,901	+3,154
資本合計	68,121	65,705	+2,416
負債及び資本合計	99,176	93,606	+5,570